

いこいこツギ

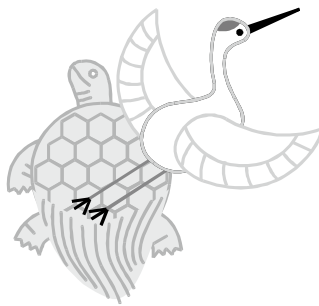
第64号

令和3年10月
発行：依田窪老人保健施設
広報編集委員会
〒386-0603
小県郡長和町古町 3365-5
TEL：0268-68-0281
FAX：0268-68-0283

祝

敬老会

いつまでもお元気で



9月22日、いこい敬老会を行いました。今年も昨年度同様、コロナ禍のため、充分なおもてなしはできませんでしたが、初めに、米寿、白寿、紀寿の祝いを迎えられる7名のご利用者に、石橋施設長

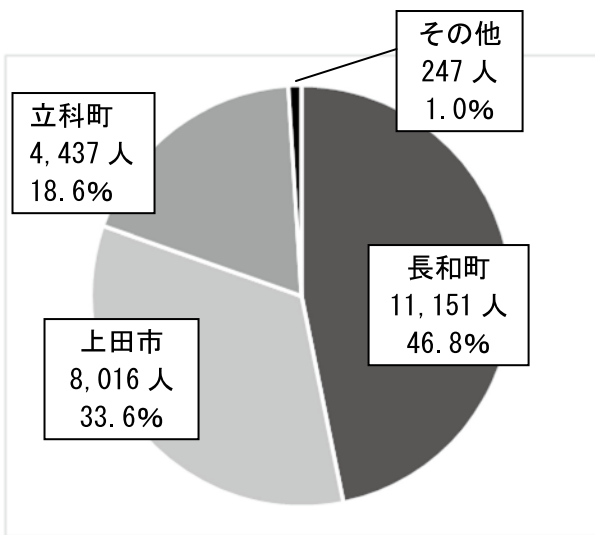


石橋施設長より慶祝状の贈呈がありました

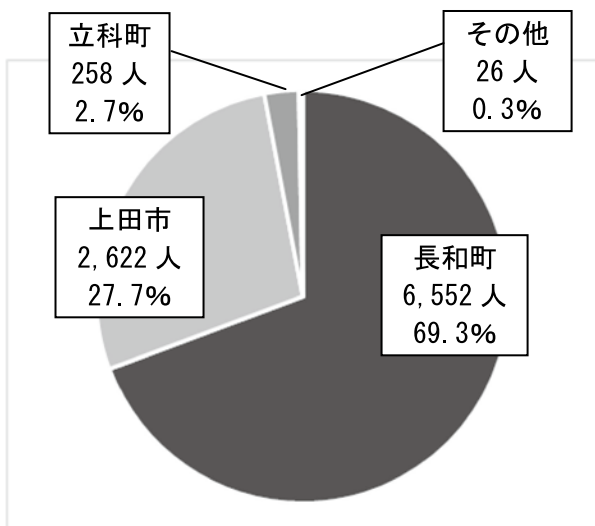
より慶祝状が贈呈されると皆さん笑顔満開、それを見ていて「来年は私が表彰してもらえようがんばろう」とお話されておられる方もいらっしゃいました。贈呈後は、くす玉割や慶祝状を手元に記念撮影を行いました。石橋施設長お勧めの「神楽」鑑賞も行い、初めて見る神楽の迫力に魅了されている方が大勢いらっしゃいました。お昼には祝い御膳としてお赤飯、おやつには祝い饅頭をご用意し、ささやかながらお祝いをさせていただきました。これからも皆様が、いつまでもお元気で楽しい毎日をお過ごしただけですよう、心のこもったケアを大切に職員一同努めてまいります。皆様のますますのご健勝と、ご長寿を心よりお祈りいたします。

(食事・行事委員 石黒 愛)

市町村別入所者の延べ人数と比率



市町村別通所利用者の延べ人数と比率



歳入総額	54,745万円
歳出総額	53,489万円
差引残額	1,256万円

□ 主な歳入内容

施設入所サービス収入	22,804万円
居宅サービス収入 (短期入所・通所リハビリ)	14,669万円
市町分担金	6,252万円

□ 主な歳出内容

職員給与費	34,550万円
診療・介護・給食等材料費	3,556万円
経費(消耗品費・光熱水費等)	5,401万円
保守管理等委託金	3,706万円
起債償還金	6,252万円

■ 入所・利用者の状況(延べ人数)

区分	利用実績	前年度との差
一般入所者数	19,102人	156人減
短期入所者数	4,749人	385人減
入所者数計	23,851人	541人減
入所率	93.4%	1.8%減
通所リハビリ利用者数	9,458人	124人増
通所リハビリ1日平均利用者数	30.5人	0.4人増
訪問リハビリ利用者数	154人	6人増

令和2年度 依田窪老人保健施設特別会計決算
依田窪医療福祉事務組合議会9月定例会が、9月24日に開かれ、令和2年度依田窪老人保健施設特別会計決算が審議され、認定されました。
令和2年度は、新型コロナウイルスの感染リスクを心配した利用控えなどによ

り、収入は減少しました。支出は、給食業務の外部委託による費用の増などにより、実質収支差額は赤字となったため、財政調整金を充当し、最終的に差引残額は1千256万円余の黒字決算となりました。
決算の概要、入所・利用者の状況は次のとおりです。

ほっと通信

老健いこいには、医師、看護師、介護員、理学・作業療法士、管理栄養士、支援相談員、介護支援専門員と多職種が勤務しています。このコーナーでは各職種からいろいろな情報を発信いたします。

楽しんでリハビリや生活できる空間を目指して

Cユニット主任介護員 渡邊和幸

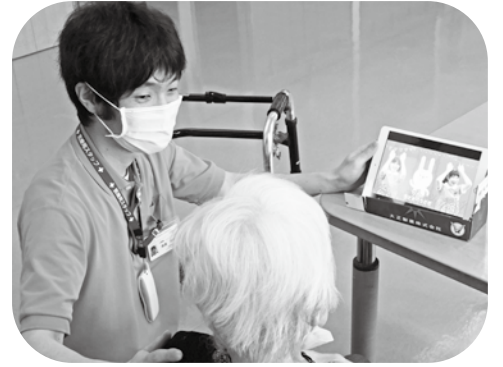
私が働いているCユニットは平成21年、新棟建設でできたユニットです。

Cユニットは、他ユニットと比べ居住スペースがコンパクトで個別の支援が実施しやすい環境になっております。Cユニットができてから私たちが一貫して目標にしていることは、ご利用者の笑顔を引き出すケア、笑顔で過ごせる環境づくりです。そのために取り組んでいることは、ご利用者の今までの生活の中で大切にしてきたこと、習慣、趣味等を施設生活の中に取り入れ、楽しくリハビリや生活をしていただくというものです。

具体的な事例として、①今まで家事等を生きがいに生活して来られたご利用者に対して、洗濯物干しやお茶入れ等をリハビリの一環として取り入れる。②歌や野球、相撲観戦を趣味にされてきたご利用者に対して、カラオケセットやタブレットを活用し楽しむ時間を設ける等行ってまいりました。タブレットの活用は好きな時に好きな場所で趣味等を楽しめ、重度の方でもベッド上で楽しむことができます。

いこいで目指している「全人的リハビリ」は身体の動きだけではなく、精神的な面も重視しリハビリを行っております。先に述べた習慣、趣味を取り入れることは精神面のリハビリとして「生きる意欲を引き出す」ものと考えております。今後もご利用者の笑顔が引き出せるユニット、笑顔で生活できる空間にしていければと考えております。

話は変わりますが、いこいでは職員の倫理面、知識、ケアの質の向上の為、毎年各ユニットで研究を行っております。今年Cユニットでは、「家族への情報提供、情報共有」をテーマに研究しております。昨年より世界で新型コロナウイルスが蔓延している状況の中、いこいでもコロナ対策として、入所中のご利用者、ご家族の面会を禁止とさせていただいております。ご利用者、ご家族には多大なご迷惑、ご心配をおかけしており、面会ができないため施設内でどう生活しているのか、元気であるのか等心配されていると思います。このことからコロナ禍で家族とどのような情報提供、情報共有をすれば良いのかをユニットで考え、実施しております。先日、ご家族にアンケートのご協力をお願いいたしました。ご協力いただき誠にありがとうございました。今後もご利用者、ご家族ともにより安心して施設をご利用いただけるよう努めてまいります。



河西優斗君

職場体験をさせていただいて、介護をするにあたって大切な礼儀や責任を感じました。

将来この体験を活かせるように、これからもがんばります。いこいの皆様3日間ありがとうございました。



小林希優君

各ユニットが、常に笑顔があふれているところから、利用者さんのために安全面など、様々な面で過ごしやすい環境を作ること努めているのだと、体験学習をとおして学ぶことができました。お忙しい中、貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。

■ 依田窪南部中学校2学年生職場体験 ■
7月14日から16日まで、依田窪南部中学校2学年生2人が、職場体験をしました。入所者といっしょにレクリエーション・作業活動に関わったり、お茶や昼食の準備・片付けなど、盛りだくさんのメニューを体験してもらいました。

★編集後記★

9月22日、いこいの敬老会を行いました。

当日の入所者65人のうち100歳以上の方が5人、最高齢の方は104歳、平均年齢は90.5歳でした。皆様のますますのご健勝、ご多幸をお祈り申し上げます。

老健いこいは、リハビリを中心としたケアを提供し、ご利用者の在宅復帰・在宅生活支援に取り組んでいます。住み慣れた地域でいつまでも暮らし続けるため、老健いこいのサービスをご活用ください。

(編集委員)